

第 20 回薩摩川内市行政改革推進委員会 会議録

開催日時	平成 31 年 3 月 26 日(火) 15:30～17:00	
開催場所	薩摩川内市役所 501 会議室	
出席者	委員	外菌会長、仙波副会長、宮元委員、石原委員、小平委員、白男川委員
	事務局	企画政策部長、行政改革推進課長、同課職員
	傍聴者	なし

□ 会次第

開会	主管課・室
1 開会	
2 公共施設マネジメントについて	財産活用推進課
3 平成 30 年度の補助金等評価の平成 31 年度当初予算編成への反映状況について	行政改革推進課
4 閉会	

□ 議事

1 開会

○ 会長

(挨拶)

2 公共施設マネジメントについて

(主管課説明後、質疑・協議)

○委員 上甌島と下甌島の上に橋が架かり、甌島がひとつになると地域から様々な施設を新たに作ってほしいと要望が出てくると思う。新たな施設を作るのではなく、現存の施設を改修・耐震化し対応する方向性を計画の中に入れてほしい。

○委員 同じく新たな施設は作るべきではないと思う。将来の維持管理経費を勘案すると使えるものは、補修等を行ってでも使っていくべき。

●主管課 薩摩川内市は 1 市 4 町 4 村の合併で誕生した。公共施設の延床面積は全国平均より 2 倍も広い状況である。経費の面からもこれまでのように全ての施設を維持することはできない。また、維持管理で

きず老朽化が進むと市民の命に関わる問題となる。したがって、市としては、公共施設は減らさなければならないと考えている。

○委員 廃校し、利活用している学校は何校あるのか。

●主管課 廃校した小中学校は計 24 校で、現在、利活用できているものが 8 校である。

○委員 廃校になった学校の利活用を更に進めてほしい。

●主管課 意見として承りたい。

○委員 公共施設マネジメントに関する計画に対しては、どのようにしてチェックしているのか。

●主管課 毎年、進捗状況を行政改革推進委員会の中で報告したいと考えている。なお、進捗が進んでいないので、まだ詳細な報告ができないことは理解いただきたい。

○委員 計画の目的は、何か。

●主管課 きっかけは笹子トンネルの天井板落下に伴い 9 人が亡くなったトンネル

事故。公共インフラに対して維持管理していくための計画を作ることが目的で、公共施設を点検、維持管理するよう、国は全国の市町村に対して策定を要請している。市としては、これまでも独自で取り組んでいた。

○委員 国の要請に対する計画の策定状況は。ロードマップなどを示してほしい。

●主管課 個別施設計画は、平成31・32年度の2カ年で策定する予定である。計画の中に進捗が分かる資料があるので、お示しできるのであれば、次回は提示したい。

○委員 公共施設の集約案は、今ある施設の機能を集約するという考え方で対応しているのか。

●主管課 お見込みのとおりである。まずは現状で似たような利用がなされている施設を集約できないか検討している。関係課と調整し、更に利活用が進むような方策は、これから検討していきたい。

3 補助金等評価平成30年度の補助金等評価の平成31年度当初予算編成への反映状況について

(事務局説明後、質疑・協議)

○委員 資料に基づき、補助金等評価の取組状況を説明いただいた。内容は、確定している内容か。

●事務局 確定している内容である。

○委員 例えば、補助金番号11番の婚活支援事業補助金は、出会いの場を作るだけでなく、結婚に至るまでの他の助成等を検討すべき。

●企画政策部長 先日、議会でも同様の意見が出た。主管課としては、更に結婚までに至る制度を様々な角度から検討していく考えである。

○委員 例えば、婚活支援事業で結ばれた方に定住していただくような方策は考えられないのか。また、ゴールド補助金は有効に活用されているのか疑問がある。

●企画政策部長 補助金等は3年に1回は

見直しするというのを基本的な考え方としている。定住補助金やゴールド補助金については、平成31年度が見直し期限となっているので、ご指摘の点を踏まえ、1年間かけて検討したいと考えている。

○会長 平成31年度当初予算への反映状況の結果報告とのことである。補助金等評価を実効性があるものとなるよう検討していただきたい。

4 閉会

○事務局
(挨拶)